

令和4年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・最終)

音戸中学校区 校番 20 学校名 音戸中学校

a 学校教育目標	<小中一貫教育目標> ふるさとを愛し、自律できる 児童生徒の育成 志をもち、自ら動き、 たくましく生活する 生徒の育成	b 経営理念 ミッション・ビジョン	<ミッション>(学校の使命) 生徒・保護者・地域の期待に応える中学校教育の実現 <ビジョン>(将来の学校像) ~連携・伝統・創造~ ○生徒に、学ぶ喜びと生きる夢を与える学校 ○職員に、責任と意欲を育む学校 ○保護者・地域に、元氣と文化を発信し続ける学校
----------	--	----------------------	--

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	学習習慣が定着していない生徒、生活習慣が不安定な生徒、目的意識の低い生徒が多い。 →「鍛える・励ます・つなげる」をキーワードに授業改善、教育活動の充実を図る。
------------------------------	--

育成すべき資質・能力	(1)知識・技能 (2)思考力・判断力・表現力 (3)協働的に関わる力 (4)地域の一員として関わる力
------------	---

評価計画(中期経営目標を設定してから 1・2・3(年目))						自己評価					
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策(こんなことをして達成します)	g 指標(効果を見とる目安)	h 目標値	(9)月			2月		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
***	確かな学力 「自分の考えをもつ力」「自分を表現する力」を主体的に身に付けた生徒の育成	生徒の自己評価能力の育成	○生徒が自分自身を振り返る機会を設定する。 ・セルフモニタリング法を活用する。	○「目標を持ち、その実現に向けて努力している」と回答する生徒の割合	85%						
		(貫) 生徒が主体的に課題解決に取り組む授業づくりの推進	○考える授業づくりを推進する。 ・課題発見・解決学習等の授業研究を行う。 ・ICTを効果的に活用した授業実践を行う。	○課題発見・解決学習等の研究授業を実施 ○教員の意識調査	年間3回 75%						
			○新聞を活用した「1分間スピーチ」を全校で行う。 ・他のスピーチに対して、自分の考えをまとめることを通じて、生徒の情報収集力や思考・表現力を育む。	○「1分間スピーチは役に立つ」、「スピーチを聞いて、考えさせられたことがある」と回答する生徒の割合	85%						
**	豊かな心・健やかな体 「人を大切にする力」「チャレンジする力」「体力を高めようとする力」を身に付けた生徒の育成	地域協働活動の推進	○OKP(音戸地域協働プロジェクト)活動を実施する。 ・ボランティアを募り、地域行事に協力し参加していく。	○OKP活動の年間実施回数(1学期3回・2学期4回・3学期3回を目標とする)	年間10回以上						
		自己肯定感の高揚	○学校体制で教育相談を全生徒に実施する。 ・夢や目標意識させ、自身を持たせる。 ○サオンドバッジ制度を活用し、真面目な態度の生徒を表彰する。 ・様々なことへ挑戦させたり応募させたりしてしていく。 ・アメニティ環境の充実。	○「夢や目標がある」と回答した生徒の割合 ○自己肯定感に関する生徒の自己評価において、肯定的評価をした割合	85% 75%						
		体力における重点目標(50m走)の達成	○走力を上げる取組を行う。 ・保健体育科、部活動(強化日の設定)、学級活動(学期に一回チャレンジマッチDayを設定)等で取り組む。	○50m走の記録が全国平均を上回る生徒の割合(毎学期実施)	男子70% 女子65%						
*	信頼される学校 「組織マネジメントを確立する」「公開性を高める」	服務規律の遵守とマネジメントサイクルを意識した実践	○服務研修に関する年間計画を作成する。 ・学年毎に服務研修を担当し、職員の当事者意識を高揚させる。	○年間計画通りの服務研修の実施	1ヶ月1回以上						
		「働き方改革」の推進	○職員の時間外勤務を削減する。 ・部活動休養日の完全実施等を行い、職員が生徒と向き合える時間を確保する。	○時間外勤務45時間未満/月 ○「生徒と向き合える時間が確保できている」と回答する職員の割合	80% 80%						

【k:評価】
 A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100
 C:60≦(もう少し)<80 D:(できていない)<60